

問題6 国会単独立法に関して、内閣法で内閣に法律案の提出権を認めていることが、例外措置を定めていると考えることができるものとして、最も適切なものはどれか。

- 1 法律案の提出も、憲法41条^(※)の「立法」であること。
- 2 憲法72条^(※)前段の「議案」に法律案も含まれると解されること。
- 3 閣僚の大半は国会議員であること。
- 4 国会は、内閣の提出した法律案を自由に修正又は否決することができること。
- 5 憲法は統治制度として議院内閣制を採用していること。

(※)

・憲法41条

国会は、国権の最高機関であつて、国の唯一の立法機関である。

・憲法第72条

内閣総理大臣は、内閣を代表して議案を国会に提出し、一般国務及び外交関係について国会に報告し、並びに行政各部を指揮監督する。

問題7 予算の法的性格に関する次の記述のうち、他と異なる考えのものはどれか。

- 1 予算は政府を拘束するのみで、一般国民を直接拘束しない。
- 2 予算の効力は、一会計年度に限られている。
- 3 予算は内容的に計算のみを扱っている。
- 4 予算の提出権は内閣にのみ属しており、予算については衆議院に先議権があり、衆議院の再議決制は認められていない。
- 5 憲法は「官吏に関する事務」を法律の所管事項と明示している。